

がん医療最前線

「病気に正面から立ち向かい、 良い顔・笑顔に……」



全国でも珍しい男性だけのがん患者会
「Face」代表 国井慎司さん

がん患者会は全国至る所にあるが、男性だけの会は珍しい。昨年4月、札幌に男性のがん患者会「Face」が発足した。その国井慎司代表(64)に、会発足の理由や活動内容、今後の抱負について聞いた。

男性は「自己完結型」

——男性だけの患者の会を発足した理由は。

仕事をリタイアして札幌に戻って「何かできることはないか」と思っていた時に、認定がん講師のボランティアがあつて北海道がん患者連絡会の研修を受けたり、いくつかの患者会に参加していました。

ある患者会で出席者の女性から「うちの主人はがんになっても治療に無頓着で、病気に向き合おうとしないので心配です」との声がありました。

また別の患者会では夫婦で参加されていたのですが、ディスカッションが始まるとがん

患者である旦那さんが「俺、あっちに行つてよ」と。

そういう光景を目にして、「女性がいるような会に男性は参加しづらいのかな」と思ったのがきっかけです。

——なぜ、女性がいると男性は参加しづらいのですか。

男性はプライドがあつて女性の前では弱みを見せたくない。女性には悩み事があると周囲に相談しながら問題解決するのに対して、男性の場合には

自分でいろいろ調べて決めることが多いです。私はそれを「自己完結型」と表現しています。——男性だけの患者会は、全国でも珍しいですね。

はい。子宮がんや乳がんのような女性のための患者会は全国にたくさんありますが、男

性の患者会の方は前立腺がんの会はあるものの、すべてのがん種にわたる男性だけの患者会は珍しいです。

それで社会的需要があると考えて昨年4月に「Face」を発足

して、昨年7月に活動を開始しました。ありがたいことに地域がん診療連携拠点病院の斗南病院がうちの会のために院内の会議室を貸してくださるようになりました。

前立腺がんの患者が半数

——会の名称である「Face」の由来は。

「Face」という英語には「向き合う」という意味のほかに「立ち向かう」という意味もあります。「病気に正面から立ち向かい、一緒に良い顔・笑顔になろう」という思いを込めて「Face」と名付けました。

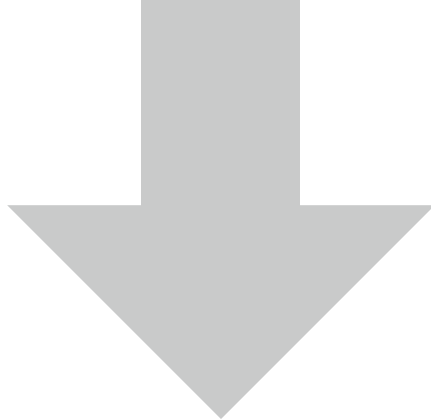
——患者会の活動は。毎月第4木曜日に斗南病院で午前10時15分

から1時間半、「Face患者サロン」を開催しています。参加は無料で事前の申し込みも必要なく、会員登録もありません。第1回では男性のがん患者さんが20人以上参加されて、この1年で延べ200人超が参加されました。

——どういふ方が参加されるのですか。男性のがんで一番多いのが前立腺がんで、



▲「Face」患者サロン



続きは『**月刊クオリティ**』本誌を
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから
<https://qualitynet.co.jp/koudoku/>

○お電話でのお申し込みはこちらから
TEL 011-644-0101
(9:00 ~ 17:30 土日・祝日をのぞく)